

技術者一覧（河川）

頁	発注事務所名	部門	分野	工事・業務名	受注業者名	技術者氏名
49	豊橋河川事務所	河川	測量	令和3年度 豊川三次元測量業務	アジア航測 株式会社	上野山 明良
50	豊橋河川事務所	河川	土木	令和2年度 矢作川上郷排水樋管改築工事	株式会社 新井組	井上 明
51	豊橋河川事務所	河川	調査	令和3年度 豊川自然再生事業検討業務	いであ 株式会社	亀村 聡
52	豊橋河川事務所	河川	土木	令和2年度 豊橋河川施工計画検討業務	株式会社 オリエンタルコンサル タンツ	加藤 里紗
53	豊橋河川事務所	河川	測量	令和2年度 豊川矢作川水系水文観測所保守点検及び 資料整理業務	信栄測量設計 株式会社	中根 有弥
54	豊橋河川事務所	河川	土木	令和3年度 豊橋河川管理施設等監理検討業務	一般社団法人 中部地域づくり協会	小林 剛志

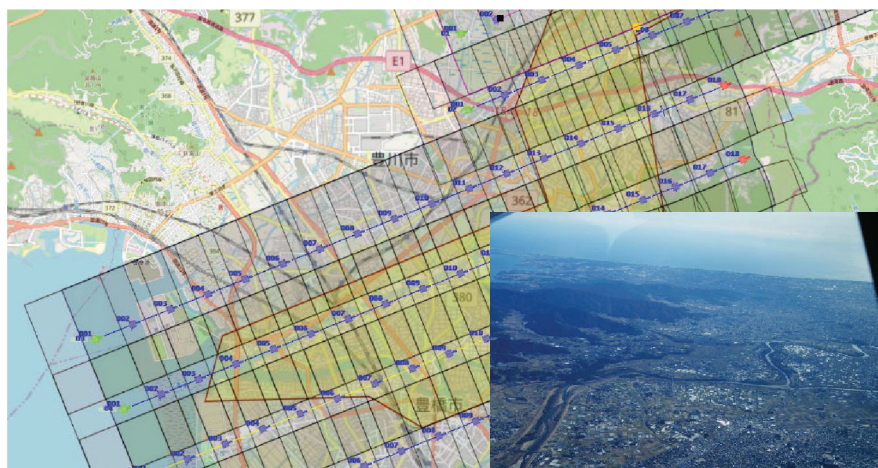
【測量】令和3年度 豊川三次元測量業務



発注者:豊橋河川事務所 受注者:アジア航測株式会社



上野山 明良
(うえのやま あきら)
2015年入社



＜業務の目的及び概要＞

この業務は豊川における河川の維持管理や、今後の河川計画等の基礎資料とするため、航空レーザ測量(ALB)および空中写真測量を実施し、地形データを作成する業務です。

入社から現在まで主に空中写真測量業務に携わっています。大学では建築、都市計画、空間デザインなど、幅広く学びました。趣味はモトクロスと写真が好きです。普段は2児の父をしています。



航空写真の確認作業

・現場での私の役割

空中写真測量業務の担当者として、計画から画像生成、解析、成果作成まで対応しています。また、災害時の斜め写真対応、航空写真や衛星画像を使用したパネルやポスター作成、蛇腹製本の作成など、写真に関する業務全般を担っています。

・建設コンサルタントを選んだ理由

学生時代に都市計画を研究していた関係で、建設コンサルタント業界に興味を持ち、この業界を選びました。測量は全く未知の世界でしたが、諸先輩方に支えられ、日々勉強させてもらっています。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事は、普段見ている景色、風景を上空から捉え、写真1枚からその全容を把握し、様々な形でアウトプットすることで広く社会に貢献できる、誇りある仕事だと思っています。大変な面もありますが、一緒にこの業界を盛り上げていきませんか。

【土木】令和2年度 矢作川上郷排水樋管改築工事



発注者:中部地方整備局 受注者:株式会社 新井組 名古屋支店



井上 明
2019年入社

入社後、兵庫県・東京都・埼玉県・岩手県にて道路建設工事、耐震補強工事等に従事した後、2021年6月から当河川改修工事に携わっています。名前の通り、誰よりも明るく前向きな性格です。スポーツカーが欲しいので堅実に貯金します。来月から！



<工事の目的及び概要>

仮堤防を設置した後、堤防直下の排水函渠及び水門を再構築する工事。函渠寸法：幅4.4m、高さ2.5m、延長43.3m。



二重締切工(仮堤防)の鋼矢板打設 作業状況

・現場での私の役割

工事に必要な基本的な測量や記録としての写真撮影をしながら、先輩方の指導の下、作業の手順や予定を調整し、施工の安全性や構造物の品質管理をしています。日常的な書類の準備・作成・記録についても私の仕事です。

・建設業を選んだ理由

幼いころから図画工作が好きで、モノづくりに携わりたかった。インターンシップで感じた、工事現場の活気や大人達の真剣な眼差し、額の汗や笑顔に心を打たれました。日々、施工課題を解決していくことも魅力でした。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

土木の仕事は沢山の人の生活を支え、命を守り、利便性を向上させる構造物や設備を整備する仕事です。基本ルールはあるものの、施工自体は発想によって高い自由度の中で行われる、行えるということが一番の魅力です。

【土木】令和3年度 豊川自然再生事業検討業務



発注者:豊橋河川事務所 受注者:いであ株式会社



亀村 聡
2018年入社

- ・専門は鳥類で、2020年には生物分類技能検定1級（鳥類）を取得しました。
- ・主に国交省発注の自然再生事業や、河川水辺の国勢調査等の業務で、鳥類分野を担当。
- ・豊川自然再生事業検討業務には、入社直後から4年間携わっています。

<業務の目的及び概要>

豊川河口部及び下流部における干潟・ヨシ原再生のモニタリング調査、及び自然再生事業計画の検証を実施し、「豊川流域圏自然再生検討会」の資料作成及び運営補助を行うもの。

河口部干潟再生



豊川本川・放水路の合流部

下流部ヨシ原再生



(例)豊川本川2.6k左岸



鳥類調査



オオヨシキリの巣跡調査

◆業務での私の役割

- ・ヨシ原と干潟の鳥類相調査を担当しています。また、ヨシ原再生の事業効果を把握するため、指標種のオオヨシキリを対象に、縄張り数の把握や、巣の搜索調査等も行います。
- ・現場作業だけでなく、調査計画の立案、データの集計やGIS処理、調査結果の解析・評価、報告書の作成まで幅広く行っています。また、検討会や、地域連携イベントの運営補助にも携わっています。

◆建設コンサルタント業を選んだ理由

- ・環境分野に強いコンサルタントとして建設業に関わることで、自分の専門技術を活かしながら、インフラ整備や生物多様性の保全といった社会的課題の解決に貢献できると考えたからです。

◆未来をつくる若手技術者の皆様へ

- ・野生生物や自然環境等の分野で活躍している技術者には、何らかの信念や情熱を持って、仕事に取り組んでいる方が多いように感じます。体力的な厳しさや、困難な課題にぶつかることの多い仕事ではありますが、常にやりがいや面白さを見出しながら、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

【土木】令和2年度 豊橋河川施工計画検討業務



発注者:豊橋河川事務所

受注者:株式会社オリエンタルコンサルタンツ



加藤 里紗
2019年入社



<業務の目的及び概要>

この業務は、豊川及び矢作川で計画されている「豊川霞地区浸水被害低減対策」「矢作川鵜の首地区水位低下対策」に関する施工計画検討を行う業務です（写真は鵜の首）。

入社して3年目になります。入社後、護岸設計や水門の耐震性能照査の業務に従事してきました。昨年度から令和2年度豊橋河川施工計画検討業務のうち、矢作川鵜の首地区の施工計画検討に携わっています。



現地踏査(UAV撮影)の様子

・現場での私の役割

担当技術者として、鵜の首地区掘削断面の検討や施工計画検討、資料作成に携わっています。先輩技術者の指導を受けながら、設計・施工に関する技術の習得やわかりやすい資料作成に励んでいます。色々な視点からアドバイスいただくことで、より良いものをつくれるように心掛けています。

・建設コンサルタントを選んだ理由

大学院生の夏にインターンシップを経験したことがきっかけです。元々専攻自体が土木ではありませんでしたが、業務を通して多くの知識を得られることや普段の生活にかなり近いところで社会貢献できるところに魅力を感じました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

普段の生活で何気なく見ていた工事の見え方が変わってくると思います。それだけ皆さんの生活に近いところで社会に貢献できる仕事です。自分の設計したものが実際に施工されていくこともやりがいの一つだと思います。



中根 有弥
2008年入社

東海工業専門学校卒業後、
信栄測量設計株式会社に入社。

2008年4月より保守点検
業務に携わっております。

<業務の目的及び概要>

この業務は、豊川及び矢作川流域の水文観測所における観測器械の点検、自記紙の取り替え、電子ロガーデータ回収、観測所周辺の清掃等を行うものである。また、水文観測により得られた観測データについて、観測値の補正、標準照査、統計資料の登録・作成を行うことを目的とする。



定期点検及び総合点検の作業状況

・現場での私の役割

主任技術者として安全管理、工程管理、品質管理、書類の作成等を行っております。現場では、観測機器の点検等の作業を行い、現地で回収したデータを基に資料整理を行っております。

・建設業を選んだ理由

建設業はあまり目立つ分野ではないけど、人々の生活になくてはならない仕事だと感じ、この業界に進むことを決めました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事は、成果が目に見えるものではありませんが、この成果が工事等の基礎資料となるデータになるため、重要な作業でありとてもやりがいのある仕事です。



小林 剛志
2020年入社

入社して2年目になります。現在は令和3年度 豊橋河川管理施設等監理検討業務に携わっています。

＜業務の目的及び概要＞

この業務は、豊川及び矢作川の河川の維持管理を適正に行うため、点検結果等を基に異状や原因、進行性など、河川管理に与える影響等の程度を評価し、対策工法・優先順位(案)の検討等を行い河川管理の基礎資料を作成する業務です。



堤防の状態把握の様子



樋門・樋管の函体の状態把握の様子

・現場での私の役割

担当技術者として、河川の点検業務で発見された異状・損傷について、変状の規模等を現地へ赴き計測等を行い、原因や進行性の把握をし、河川管理施設に与える影響等の評価を行い、河川管理の基礎資料を作成します。

・建設業を選んだ理由

もともと学生時代に土木の学科に進学していたこともあり、土木・建設業界の「やれることの多さ」に興味があり、この業界を選びました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

体を動かして大変なこともあります。この仕事は、近年の台風・豪雨災害が多くなるなか、社会を支えるとても重要な仕事だと感じています。私もまだまだ未熟ですが、上司・先輩から知識や技術を教わり、日々精進しています。これからの社会を支える技術者としてともに頑張っていきましょう。